

## 平成26年6月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成26年2月14日

会社名 株式会社 武井工業所  
 コード番号 5286

上場取引所等 フェニックス銘柄  
 本社所在地都道府県 茨城県

(URL <http://www.takei21.co.jp>)

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武井 厚  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 大内 哲朗 TEL (0299) 24-5216  
 取締役会決議日 平成26年2月14日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年6月期第2四半期の業績(平成25年7月1日～平成25年12月31日)

## (1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	2,515	(15.1)	139	(83.1)	125	(143.4)
25年6月期第2四半期	2,185	(32.1)	76	(—)	51	(—)

	四半期純利益		1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益		自己資本 四半期純利益率		総資本 経常利益率		売上高 経常利益率	
	百万円	%	円	銭	円	銭	%	%	%	%		
26年6月期第2四半期	139	(215.9)	39	44	—	—	11.2	2.8	5.0			
25年6月期第2四半期	44	(—)	12	49	—	—	4.4	1.2	2.4			

- (注) ① 持分法投資損益 26年6月期第2四半期 — 百万円 25年6月期第2四半期 — 百万円  
 ② 有価証券の評価損益 — 百万円 デリバティブ取引の評価損益 — 百万円  
 ③ 期中平均株式数 26年6月期第2四半期 3,536,656 株 25年6月期第2四半期 3,536,656 株  
 ④ 会計処理の方法の変更 有 ・ (無)  
 ⑤ 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
26年6月期第2四半期	4,479	1,307	369	60	29.2	291	70	
25年6月期第2四半期	4,359	1,031	291	70	23.7	—	—	

- (注) ① 期末発行済株式数 26年6月期第2四半期 3,542,000 株 25年6月期第2四半期 3,542,000 株  
 ② 期末自己株式数 26年6月期第2四半期 5,344 株 25年6月期第2四半期 5,344 株

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
26年6月期第2四半期	122	△ 46	△ 65	203				
25年6月期第2四半期	151	△ 19	△ 82	212				

## 2. 平成26年6月期の業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

通期	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金				
				中間		期末		
				円	銭		円	銭
4,700	182	146	—	—	2	50	2	50

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 41円 37銭

### 3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改定に伴う変更 : 無
  - ② ①以外の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示の変更 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                     |             |             |             |             |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 26年6月期第2四半期 | 3,542,000 株 | 25年6月期      | 3,542,000 株 |
| ② 期末自己株式数           | 26年6月期第2四半期 | 5,344 株     | 25年6月期      | 5,344 株     |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計期間)  | 26年6月期第2四半期 | 3,536,656 株 | 25年6月期第2四半期 | 3,536,656 株 |

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の成長戦略や日銀の金融緩和等の効果により、企業収益の改善や株高基調が見られたものの、欧州の緊縮財政の影響による景気低迷の長期化や新興国の経済成長の鈍化、今後予定されている消費税増税の影響等を考慮すると、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当社の属する建設業界におきましては、建設需要の増加に伴い資材、原材料及び技能労働者の不足が常態化し、今後更なる工事原価の上昇等が予測されておりますが、足元では大型補正予算緊急経済対策の編成や復興需要の継続、消費税増税前の駆け込み需要などを背景に受注環境が改善され、緩やかな回復の兆しが見られました。

このような経営環境のなか当社は、主力のフリードレーンをはじめとするオリジナル製品群の旺盛な需要に全社を挙げて対応したため、汎用タイプの規格製品群についてはその生産を抑制せざるを得ず、これらの製品群の需要については同業他社の応援を得るなどして対応してまいりました。

その結果、売上高は25億1千5百万円(前年同期比15.1%増)、営業利益1億3千9百万円(前年同期比83.1%増) 経常利益1億2千5百万円(前年同期比143.4%増)、四半期純利益1億3千9百万円(前年同期比215.9%増)となりました。

なお、品種別の売上高は下記のとおりであります。

区分	品 目	前 第 2 四 半 期 累 計 期 間 ( 自 平 成 24 年 7 月 1 日 至 平 成 24 年 12 月 31 日 )		当 第 2 四 半 期 累 計 期 間 ( 自 平 成 25 年 7 月 1 日 至 平 成 25 年 12 月 31 日 )	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
製 品	道 路 用 製 品	342,683	15.7	409,598	16.3
	水 路 用 製 品	757,021	34.6	907,947	36.1
	擁壁・土止め用製品	191,553	8.8	251,179	10.0
	法面保護用製品	77,943	3.6	13,104	0.5
	そ の 他	83,582	3.8	95,523	3.8
	小 計	1,452,784	66.5	1,677,353	66.7
商 品	コンクリート二次製品	629,889	28.8	734,446	29.2
	そ の 他	102,455	4.7	104,100	4.1
	小 計	732,344	33.5	838,547	33.3
	合 計	2,185,129	100.0	2,515,900	100.0

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べて2億8千6百万円増加し、44億7千9百万円となりました。流動資産は、前事業年度末と比べて2億4千5百万円増加し、20億2百万円となりました。これは主として「受取手形」が7千6百万円減少したものの、「現金及び預金」が1千万円、「売掛金」が2億8千3百万円、「原材料及び貯蔵品」が9百万円及び「繰延税金資産」が1千8百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は、前事業年度と比べて4千万円増加し、24億7千7百万円となりました。これは主として「有形固定資産」が7百万円及び「投資その他の資産」が3千3百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度と比べて1億5千4百万円増加し、31億7千2百万円となりました。流動負債は、前事業年度と比べて1億3千2百万円増加し22億2千6百万円となりました。これは主として「短期借入金」が5千万円及び「未払法人税等」が1千7百万円減少したものの、「支払手形」が1千9百万円、「買掛金」が1億2千6百万円及び「未払金」が2千7百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は、前事業年度と比べて2千2百万円増加し9億4千5百万円となりました。これは主として、「リース債務」が1千9百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度と比べて1億3千1百万円増加し13億7百万円となりました。これは主として第58期の配当支払8百万円がありましたが、四半期純利益1億3千9百万円を計上したことにより、「利益剰余金」が1億3千万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の28.0%から29.2%となり、当第2四半期会計期間末発行済株式数に基づく1株当たり純資産額は前事業年度の332円34銭から369円60銭となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローの増加1億2千2百万円、投資活動によるキャッシュ・フローの減少4千6百万円及び財務活動によるキャッシュ・フローの減少6千5百万円により、前事業年度末に比べて1千万円増加し、当第2四半期会計期間末残高は2億3百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期会計期間末における営業活動の結果増加した資金は、1億2千2百万円(前年同四半期は1億5千1百万円の増加)となりました。これは主として売上債権の増加が1億8千7百万円あったものの、税引前四半期純利益を1億2千4百万円計上したことに加え、減価償却費の計上が4千7百万円及び仕入債務の増加が1億4千5百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期会計期間末における投資活動の結果減少した資金は、4千6百万円(前年同四半期は1千9百万円の減少)となりました。これは主に定期預金の払戻による収入が8百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が2千1百万円、定期預金の預入による支出が2千4百万円及び保険積立金の積立による支出が7百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期会計期間末における財務活動の結果減少した資金は、6千5百万円(前年同四半期は8千2百万円の減少)となりました。これは主に長期借入れによる収入が2億5千万円あったものの、短期借入金の減少が5千万円、長期借入金の返済による支出が2億4千万円及びリース債務の返済による支出が1千6百万円あったこと等によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期における業績につきましては、本日(平成26年2月14日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照して下さい。

なお、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	213,795	223,958
受取手形	376,718	300,285
売掛金	577,171	860,345
商品及び製品	496,545	501,788
原材料及び貯蔵品	80,721	90,421
前払費用	17,333	13,760
繰延税金資産	—	18,212
その他	3,885	3,141
貸倒引当金	△ 9,053	△ 9,224
流動資産合計	1,757,117	2,002,689
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	326,229	315,113
構築物(純額)	127,891	121,174
機械及び装置(純額)	94,328	97,828
車輛運搬具(純額)	289	246
工具、器具及び備品(純額)	89,242	87,718
土地	1,605,433	1,605,433
リース資産(純額)	80,885	103,635
建設仮勘定	—	595
有形固定資産合計	2,324,299	2,331,745
無形固定資産	4,572	4,908
投資その他の資産	107,346	140,350
固定資産合計	2,436,218	2,477,004
資産合計	4,193,336	4,479,694

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	144,788	163,879
買掛金	229,486	356,160
短期借入金	1,080,000	1,030,000
1年内返済予定の長期借入金	315,376	321,784
リース債務	28,194	32,337
未払金	206,962	234,874
未払法人税等	31,183	13,997
未払消費税等	11,645	17,652
預り金	19,921	23,488
賞与引当金	20,500	25,800
その他	6,425	6,636
流動負債合計	2,094,485	2,226,611
固定負債		
長期借入金	746,034	748,926
リース債務	58,664	78,185
繰延税金負債	2,500	3,090
退職給付引当金	108,219	107,612
資産除去債務	8,050	8,127
固定負債合計	923,468	945,942
負債合計	3,017,954	3,172,553
純資産の部		
株主資本		
資本金	522,323	522,323
資本剰余金	389,632	389,632
利益剰余金	260,288	390,948
自己株式	△ 1,112	△ 1,112
株主資本合計	1,171,131	1,301,791
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,251	5,350
評価・換算差額等合計	4,251	5,350
純資産合計	1,175,382	1,307,141
負債純資産合計	4,193,336	4,479,694

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	2,185,129	2,515,900
売上原価	1,618,682	1,849,674
売上総利益	566,447	666,226
販売費及び一般管理費	490,032	526,305
営業利益	76,414	139,920
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	107	147
その他営業外収益	4,120	8,799
営業外収益合計	4,228	8,946
営業外費用		
支払利息割引料	29,087	23,425
その他営業外費用	140	285
営業外費用合計	29,227	23,711
経常利益	51,415	125,155
特別損失		
固定資産除却損	176	365
特別損失合計	176	365
税引前四半期純利益	51,239	124,789
法人税、住民税及び事業税	7,076	10,257
法人税等調整額	—	△ 24,968
法人税等合計	7,076	△ 14,711
四半期純利益	44,163	139,501

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	51,239	124,789
減価償却費	47,292	47,835
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 1,512	△ 687
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 800	5,300
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,287	△ 606
受取利息及び受取配当金	△ 107	△ 147
支払利息	29,087	23,425
有形固定資産除却損益(△は益)	176	365
売上債権の増減額(△は増加)	△ 2,595	△ 187,682
割引手形の増減額(△は減少)	16,544	△ 18,200
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 77,873	△ 14,943
仕入債務の増減額(△は減少)	109,050	145,764
その他資産・負債の増減額	8,626	47,151
小計	183,414	172,365
利息及び配当金の受取額	107	147
利息の支払額	△ 29,960	△ 23,302
法人税等の支払額	△ 1,966	△ 26,483
営業活動によるキャッシュ・フロー	151,595	122,726
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△ 240	△ 846
有形固定資産の取得による支出	△ 12,841	△ 21,527
無形固定資産の取得による支出	—	△ 367
定期預金の払戻による収入	124,000	8,000
定期預金の預入による支出	△ 124,000	△ 24,000
保険積立金の積立による支出	△ 6,223	△ 7,661
その他投資の増減額	△ 288	△ 202
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 19,593	△ 46,605
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△ 50,000
長期借入れによる収入	200,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△ 263,428	△ 240,700
リース債務の返済による支出	△ 13,361	△ 16,604
配当金の支払額	△ 5,214	△ 8,653
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 82,004	△ 65,957
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	49,997	10,162
現金及び現金同等物の期首残高	162,508	193,795
現金及び現金同等物の四半期末残高	212,506	203,958



- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。